



---

“農”を通じて

人と地域をつなぐ

～プランター農業体験からレンタル農園への展開～

---

JA江刺 共済部共済スマイル推進課

菊池 美千代



## 現状から見えてきた4つの問題点

1

組合員の減少



2

担い手・後継者  
不足



3

職員減少による  
接点減少



4

江刺ブランド  
存続の危機





# クロスSWOT分析による現状分析

**S** 強み

- ・独自ブランド

**W** 弱み

- ・高齢化・担い手不足
- ・接点不足

**O** 機会

- ・農への関心高まり
- ・SNSの拡大

**T** 脅威

- ・気候変動
- ・高齢化・人口減少

積極的攻撃 **S**×**O**

農業体験やSNS  
発信によるファン  
づくり

差別化戦略 **S**×**T**

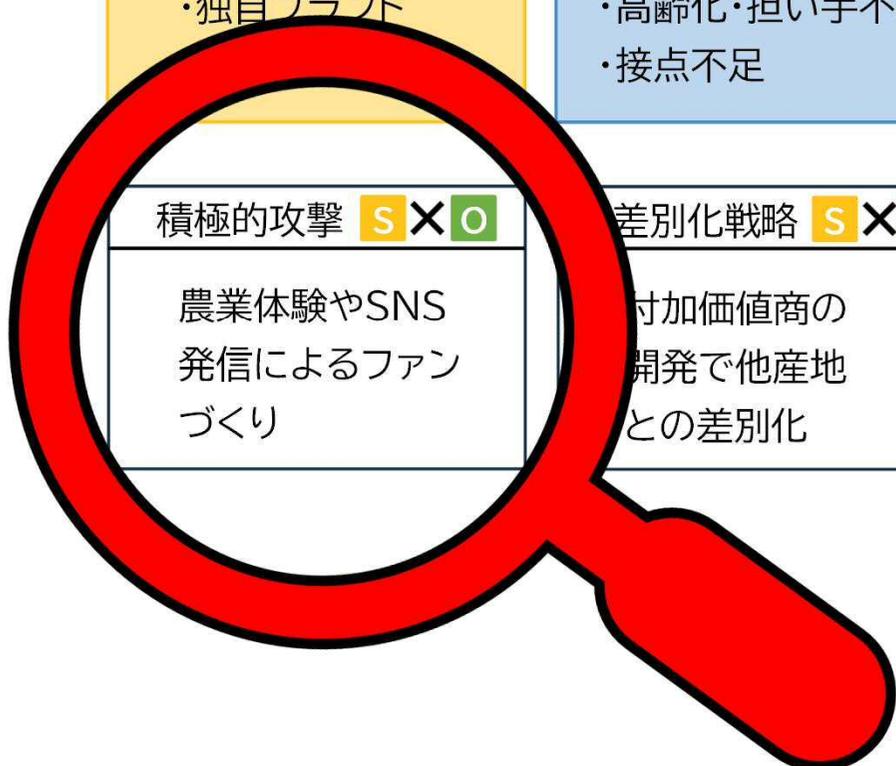
付加価値商の  
開発で他産地  
との差別化

段階的施策 **W**×**O**

デジタル活用に  
よる情報発信や  
オンライン強化

防衛・撤退 **W**×**T**

担い手育成・地域  
内連携強化





## 3つの課題

1

### 農業体験の継続性

- ✓ 継続的に農業に関われ場が少ない
- ✓ 次世代へ繋ぐチャンスを失う要因

一過性ではなく継続的に  
関われる農業体験の  
場づくり

2

### 若年層との接点

- ✓ 「農業＝遠い存在」
- ✓ “農”に興味があるが関わり方がわからない層

若年層・都市住民との  
新たな接点構築

3

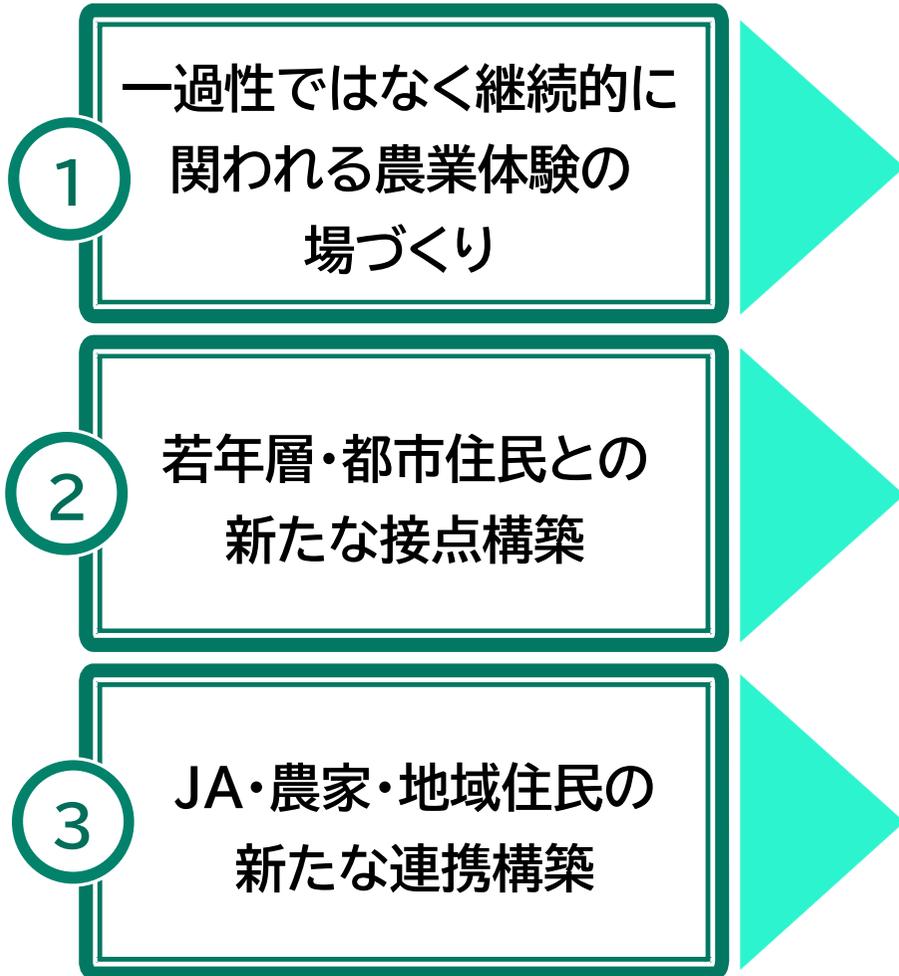
### 連携体制の強化

- ✓ 職員の農業経験が少ない
- ✓ 情報共有、相互理解の機会が不足

JA・農家・地域住民の  
新たな連携構築



# 課題解決に向けたアクションプラン



## テーマ

“農”を通じて人と地域をつなぐ

～プランター農業体験からレンタル農園への展開～

## 目的

「プランター農業体験」を入口に、「レンタル農園」へと  
発展させ、人と人、人と地域、人と農業をつなぐ

## 具体的提案

- (1)ステップ型プログラム導入
- (2)地域農業体験サポートチーム設置
- (3)SNSを活用した情報発信



# プラン①：ステップ型プログラム



## ステップ1：プランター農業体験

- ✓ 参加対象を小学生～シニア層とした「プランター農業体験教室」を開催
- ✓ JA施設見学・収穫体験ツアーや食体験イベントを企画
- ✓ 体験の様子をSNSで発信



## ステップ2：プランター会員制度

- ✓ 会費無料
- ✓ LINE公式アカウント開設、LINE友達登録
- ✓ 販売情報、栽培のコツ、イベント情報などを配信



## ステップ3：レンタル農園開設

- ✓ 遊休農地を活用
- ✓ 小区画で初心者でも管理しやすい
- ✓ JAが伴走しながら支援



## プラン②: サポートチーム設置



ステップ1

プランター農業体験



ステップ2

プランター会員制度



ステップ3

レンタル農園開設

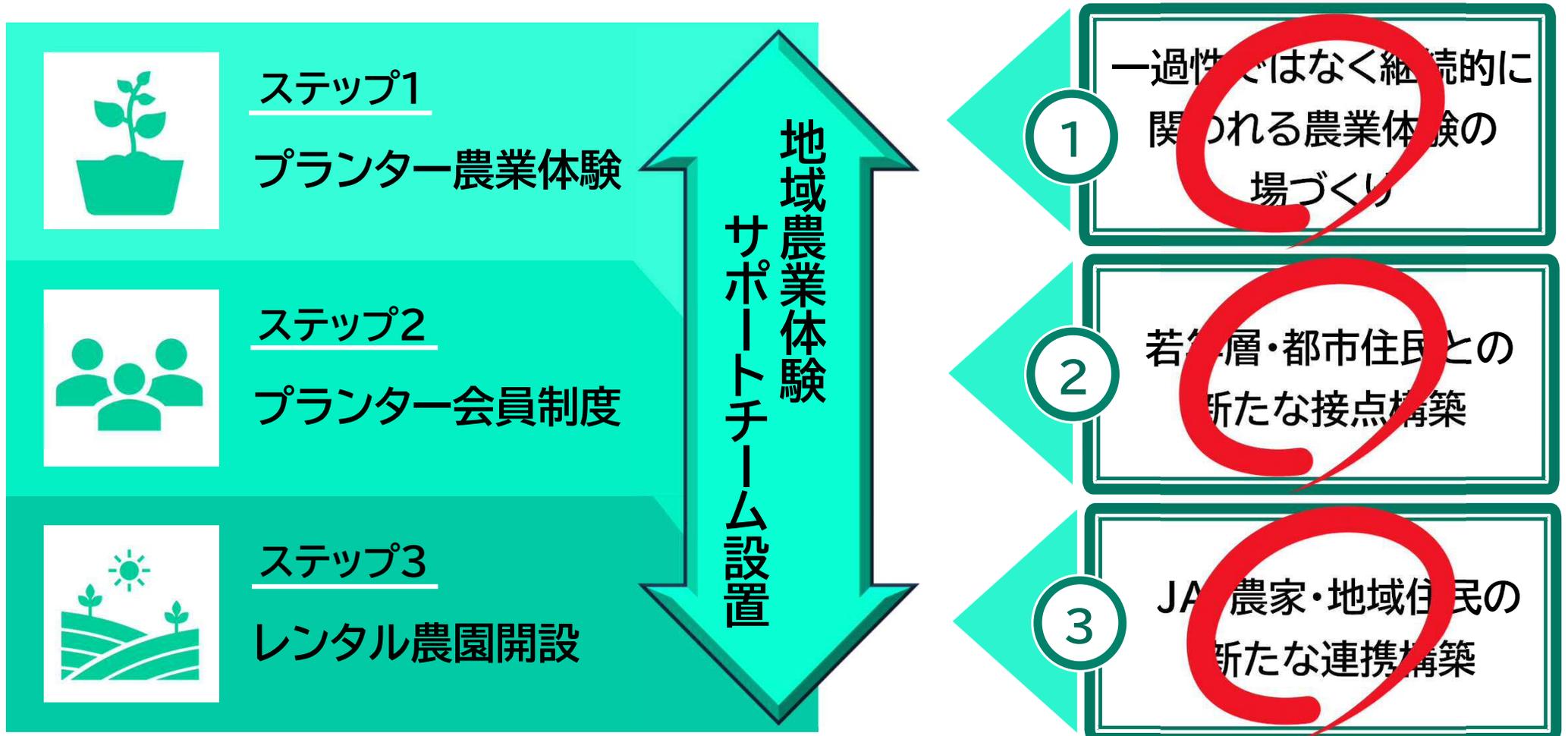
地域農業体験  
サポートチーム設置

- ✓ 若手職員の中心のチーム
- ✓ 企画・運営・情報発信・会員対応を担当
- ✓ 農家・地域住民との連携窓口





## 課題へのアプローチ





## 期待される効果

1 地域農業の担い手構築



“担い手・後継者不足”の  
解消につながる

2 JAの存在価値向上



“組合員の減少”に  
歯止めをかける

3 職員の成長と組織力の強化



“職員減少による  
接点減少”を補う

4 持続可能な地域共生の実現



“江刺ブランド存続  
危機”を支える基盤

»» 4つの効果が4つの問題の改善につながる



ご清聴ありがとうございました

